

第4回策定委員会 議事要旨

主な意見	対応の方向性（事務局回答等）
全体構想及び地域別構想について	
全体構想に関する事項	
<ul style="list-style-type: none"> 大勢の住民が仕事で都会へ出ているという実態がある。これを踏まえた文言が必要ではないか。「第二都市（八王子）に接する」といった文言を入れるのはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を参考に、都市のイメージの文言を修正するなどの反映を行う。 参考資料 - 2 にてご確認いただき、他の部分も含めて、次回委員会までにご意見を頂戴したい。
地域別構想に関する事項	
<ul style="list-style-type: none"> 飯能市を視察して、文教関係の施設整備やひとづくりに関わるプランが明確であることが印象に残っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン原案作成にあたり、上野原市における都市計画に関わる課題を再整理するとともに、これを受けて地域別構想を作成している。上野原地区に「シビックゾーン」の方針を記載するなど反映している。 資料 - 3、参考資料 - 2 にてご確認いただきご意見を頂戴したい。
<ul style="list-style-type: none"> 地区毎の課題として提示された「良好な緑地資源の維持・保全」について、「活用」という表現を入れるべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、文言を追加する。
実現化方策に関する事項	
<ul style="list-style-type: none"> 現在検討している都市計画マスタープランをはじめ、庁内で検討されている内容について可能な限り、地域住民への情報提供と住民理解の徹底を今後も図っていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 要望として上げるだけでなく、地域住民への情報提供や住民理解の徹底についても実現化方策に関わる事項だと思われるため、ご意見を踏まえ実現化方策に反映する。
<ul style="list-style-type: none"> コモアしおつを週末利用している方と話す、上野原には魅力があり、これからいくらでも地域活性化できると言われている。上野原の魅力を伝える方策について知恵出しが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な企画提案や事業計画は、都市計画マスタープランの範疇を超えているが、実現化方策作成にあたり、今後の各地域・地区の将来像がイメージできるよう工夫する。 資料 - 5、参考資料 - 2 にてご確認いただきご意見を頂戴したい。
<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化は、「人を呼ぶ」「お金を呼ぶ」の二通りがある。上野原も自分たちに合った方策を考えられれば、面白いものができるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別構想としてご意見を頂戴しているが、「呼ぶ」という具体的な方策に関するものとして捉え、実現化方策に反映する。
その他	
<ul style="list-style-type: none"> まちづくりの課題について、「人を育てる」という課題もあるのではないか。人を育てるところから地域が出来上がっていき、新しいものが出来ていくと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 指摘事項については、「少子化や高齢化社会への対応」の内容として整理予定であった。 但し、ご指摘の通り、「人づくり」は、重要なキーワードであるため、最終的にキーワードを整理する際に修正する。

主な意見	対応の方向性（事務局回答等）
意見交換	
中心市街地に関する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・風致地区を縮小してマンションなどを作り、人口を増やせないか。 ・甲州街道沿いには住宅が密集しているが、少し入ると空地が多い。空地を積極的に活用する方法がないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・風致地区に関しては、現在、市の都市計画審議会にて議論している。都市計画マスタープランについても都市計画審議会に図るため、調整した上で記載する。 ・中心市街地に関する方針作成において参考にさせていただく。
森林資源活用	
<ul style="list-style-type: none"> ・森林を活用していることが印象に残っている。 ・地域資源の活用として、道の駅みたいなものが出来る中で、多くの地域の資源、特産品を作れば売れるというまちづくりの方向を示していく必要性を感じた。 ・飯能市は、地域の特産の木材を公共施設にも徹底して活用している。何か一つの事に対して集中的に施策として反映し、それをまちづくりに活かして行くことが大事である。 ・自然、地域資源がこういった計画を行う上で宝となると再確認した。将来的な目標像を考えて資源、宝を大事にしていかなければならない。 ・木材は上野原の場合、杉、桐原産木、西原産木を活用していけば有効利用できるのではないか。 ・西原・秋山にも素敵な自然があるので、その木材利用や長寿の村の天然水などを名産品として取り上げてよいのではないか。 ・本日の視察を受け、マスタープランの夢は夢ではない、夢はかなえられているのだと気付いた。 ・飯能市は、こだわっていると感じた。例えば西川材を使うなら全部に徹底して使っている。何事もこだわりがないと、身になるものにならないというひとつの証だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの議論で「環境共生都市」を目指すことになった。（将来の都市のイメージに表現することで合意）環境共生という統一的な考え方を方針の各所に示す。 ・木材や天然水の有効活用についても、方針の各所に示す。 ・特に、森林に囲まれた地域・地区の方針作成において、拠点形成という位置づけ等に反映するなど、参考にさせていただく。
人口減少への対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・対策を講じないと上野原市の人口が減少する一方ではないかということが一番心配である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランは将来の人口を想定した上で方針を示すものである。推計では上野原市の平成 42 年の人口は 2 万人強まで減少することとなっている。 ・談合坂スマート IC を活かした対応など、全体構想、地区別構想に反映する。
<ul style="list-style-type: none"> ・何らかの形で廃校を活かして地域の活性に結びつけるようにしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに、全体構想や地区別構想に表現しているが、原案にもこれを明示する。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の事情を分かっている方が、それぞれの地域の特徴を踏まえ、地域の未来に向けた発想していただけるともっとよくなるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン原案作成にあたり、上野原市における都市計画に関わる課題を再整理するとともに、これを受けて地域別構想を作成している。

主な意見	対応の方向性（事務局回答等）
意見交換	
<ul style="list-style-type: none"> ・マスタープランで作り上げているがそれを具体化していく実行上のプロセスを確立して見える形にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の進捗管理の徹底を図ること等を実現化方策に反映する。
<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で地域おこしができる組織づくりができるとよいと感じた。 ・上野原のまちづくりは、色々な方々、地区が協力しあっていると感じた。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくり推進委員会の構築」という表現があってもよいのではないか。それを受け、積極的に各地区が、先進事例を参考にしながら取り組んでいけることが明確になると思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・マスタープランは、10年20年先の将来の方向性を目指すのは間違いないが、夢物語になってしまったら何も意味がないので具現化できるものを含めないとならない。これに向けては、行政と市民が接点を深めて対応していくことに尽きるのではないかと思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・教育文化を振興するための施設などをマスタープランに組み込んでいく必要があるのではないかと。マスタープランというとハード（区域指定、施設整備等）を位置づけることが主となるが、実際はソフト（運用、仕組みづくり等）を使ってどういう風に動かしていくかといところを見通してやっていかなければならない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・それには人材が必要である。まちを愛し、問題意識を持って、「やってやるぞ」という若者をあまり作ってこなかったのではないかと。したがって、そういう人づくりを考えていかなければならない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にまちづくりを推進する主体を教育していかなければいけないし、関心を持っていたかなければいけないということをマスタープランの中で記載する必要があると感じた。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり推進委員会と出たが、具体的に何か組織を作っていくべきである。できれば市役所の中にも音頭をとる部署を作って具体的にやっていかないと、と感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区毎の組織作りについて、実現化方策に反映する。

以上